

【学会活動貢献賞】 (公社)日本地すべり学会 学会誌編集委員会(団体)

1. 推薦理由：学会誌出版事業への長年の貢献

学会誌は研究発表会と共に、学会活動の2大事業である。発行の都度、全会員の手に届けられ、会員が学会に所属していることを実感する象徴となっている。

学会誌の刊行は、1964年の創刊以来、連綿と継続する事業であり、品質を保証しつつ、時代と環境の変化に対応して絶えざる創意工夫を行っている。

2. 近年の主な実績：

(1) 刊行に向けての継続的な取組

- ・編集委員会を原則として毎月、年間12回開催している。遠方や業務多忙の委員などが参加しやすいよう、Web会議や土曜日の開催なども適宜行っている。
- ・投稿された全ての論文の査読進捗状況を、編集委員会においてレビュー。進捗に応じて、掲載する巻号を決定
- ・年3回、特集号を刊行。技術進歩を反映したタイムリーなテーマ設定で投稿を呼びかけ

(2) 品質の維持・向上に向けた取組

- ・投稿論文の品質を保証するため、投稿規定、査読ルールやプロセス、査読に使用する様式などの普段の見直しと改定
- ・二重投稿や研究不正への対応
- ・査読者の貢献に報いるため査読者賞を新設、候補者を表彰委員会へ推薦

(3) 会員サービス向上のための新しい取組

- ・基礎用語をわかりやすく解説した「地すべりキーワード101」をシリーズとして毎回掲載
- ・投稿者の負担が大きかったカラー掲載料の大幅引き下げなど、掲載料の改定
- ・賛助会員のページ「わが社の取組」の新設

3. 推薦時点（2020年2月）のメンバは以下のとおり。

委員長：渡部直喜（新潟大学）、
副委員長：倉岡千郎（日本工営株式会社）、
主事：岡田康彦

（国立研究開発法人森林研究・整備機構）、
馬場俊行（国際航業株式会社）、
委員：岩橋純子（国土地理院）、
菅野孝美（川崎地質株式会社）、
木村諤（愛媛大学）、佐藤浩（日本大学）、
柴崎達也（国土防災技術株式会社）、
高山陶子（アジア航測株式会社）、
竹下航（土木研究所）、
林一成（奥山ボーリング株式会社）、
古谷元（富山県立大学）、
丸晴弘（日本工営株式会社）、
宮城昭博
（（一財）砂防・地すべり技術センター）、
山崎新太郎（京都大学）、
吉迫宏（農研機構）、
若井明彦（群馬大学）、
渡辺修（合同会社水文企画）、
渡邊達也（北見工業大学）、
王功輝（京都大学）

推薦者：(公社)日本地すべり学会事務局 鈴木英則



最近の学会誌編集委員会 Web会議の様子